

令和2年6月10日発行



益田翔陽高等学校同窓会

会 報

No. 12

発行

島根県立益田翔陽高等学校同窓会

事務局

赤 陵 会 館 内

益田市あけぼの東町13-1

TEL 0856-23-1619

FAX 0856-25-7044

HP http://shoyo.info/

令和2年度 第12回 益田翔陽高校同窓会定例総会

「同窓会活動を振り返って」

副会長 北 浦 正 信



『瞬——とき——』
未来への想い、新時代を翔け

令和二年も順調に始まり、今年もこのまいくかと思われた矢先、中国の武漢市で始まった新型コロナウイルス感染症、これがまたく間に全世界に広がり四月二十日現在で、感染者一、二、三〇、〇〇〇人、死者一六四、〇〇〇人。国内では、感染者一、〇〇〇人、死者一八〇人で感染拡大が続いています。島根県でも一六人が感染し、緊急事態宣言がだされ、学校は、小中高連休明け迄休校になっています。これがいつまで続くか見当もつきません。東京オリンピックも一年延期になり、会議や会合、例会全て中止、人の集まる所、密集、密室、密接は、避けるように、全員マスク姿で、マスクの品切れ状態が続いています。

その様な中、会員の皆様も不自由な生活を余儀なくされておられるとおもいますが、健康には十分注意され今後益々のご活躍を期待しております。又同窓会においては、平素より格別のご理解とご協力ありがとうございます。

さて、私は同窓会とかかわって四〇年以上経ちました。私は益田工業高校創立一〇周年で、同窓会の記念イベントを手伝うようになり、同窓会報や会員名簿の発行にかかりました。当時は、一期生でも二十八歳、皆さん仕事に忙しく、なかなか同窓会の方まで手が回らない状態でした。私は三期生で

自営を始めて一年が過ぎた頃でしたので、ある程度時間的な余裕がありました。何しろ誰も経験もなく、手探り状態でした。会員名簿は、仕事が終わってから学校へ集まり、実家へ電話をかけて教えてもらいました。それでもなんとか会報や名簿が出来たときは、安堵しました。それから今日迄同窓会に関わってきました。主要都市に支部を作ったり、総会や周年事業、毎年の会報の発行、いろいろ思い出はありますが、一番は何と言っても産業高校と工業高校が統合し益田翔陽高校の開校でした。工業高校は、なくなる、久城台地から学校が消えるという切羽詰まった状態でした。限られた時間の中で、閉校に向けて記念事業や記念誌の発行、又同窓会はどうするのか、頻りに学校に集まり当時の小村校長先生や教職員の方、同窓会やPTAの方々と協議しました。そして平成二〇年三月卒業式、閉校式を迎え工業高校へ別れを告げ、益田翔陽高校へ向かって行きました。

それから早十三年になります。同窓会も当初は産業と工業でわだかまりもあつたようにもありますが、それも徐々になくなり、双方とも翔陽高校と同窓会の発展のため、尽力するようになりました。コロナで揺れていますが、新人生は、どこの高校も定員割れが続いている中で生物環境工学科、総合学科は定員一杯の生徒が入学しました。大変喜ばしいことだと思います。先生方のお陰だと思っています。今後同窓会の更なる発展を願ひ会員の皆様の益々のご発展とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

(1) 転出者・退職者		(2) 転入者・新任者	
職名	氏名	職名	氏名
講師 地歴公民	沖野 彪 三刀屋	講師 国語	奥野 早美 浜田商業
講師 理科	坂根 大樹 浜田	講師 数学	山根 萌益 田
教諭 電子機械	渡部 隆司 松江工	講師 理科	永野 周新 規
教諭 電気	松本 卓也 松江工	教諭 電子機械	田口 栄治 松江工業
教諭 物理	福原 史樹 県教育庁	実教 電子機械	中島 大智 新 規
教諭 総合	石川 恭子 退 職	教諭 電気	西山 達也 松江工業
講師 美術	篠田 巧 松江東	実教 物理	竹田 正範 出雲農林
事務 事務局長	新宮 研一 出雲商業	教諭 物理	三嶋 大和 出雲農林
事務 主幹	山根 美行 県立整備事務所	講師 美術	高橋 健一 松江清心養護
事務 図書	藤村 正枝 吉 賀	事務 事務局長	吉永 浩浜 田
		事務 主任	城市 早会子 防犯危機管理課
		事務 図書	河谷 さおり 県立図書館
		事務 ア	石川 久美 江 新 規

『信頼される学校を目指して』

益田翔陽高等学校
校長 長岡 正和



全国的益田
農林高校、益
田工業高校、
益田産業高
校、益田翔陽
高校の卒業生

におかれましては、ますますご隆盛のこととお慶び申し上げます。平素より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、衷心よりお礼申し上げます。昨年度も同窓生の皆様から物心両面にわたり、様々なご支援を頂戴いたしましたことを重ねて感謝申し上げます。

さて、昨年度二月末からの新型コロナウイルス感染症対策が継続される中、現在もなお平素の教育活動がでない状況が続いております。令和2年度も早くも五月を迎え、校舎正面から遠くに見える万葉公園の丘の頂上間には、赤や青、黒、金などの色とりどりの100匹ものこのぼりが例年と変わりに益田圏域に感染者が出ていないことがせめてもの救いです。今後とも生徒・教職員・保護者の安全安心を第一に、油断なく感染症対策に取り組んでまいります。

改めて、今年度益田翔陽高等学校二年目となります校長の長岡正和でございます。昨年度は、専門高校に初めて赴任致しました私にとっても、見るもの聞くもの触れるものすべてが新鮮な経験であり、ものづくりの難しさや大変さ以上に、その有意性と楽しさや充実感を身をもって感じる事ができた一年でありました。今年度も、本校及び益田・鹿足郡地域の発展のため、精一杯尽力してまいりますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

さて、昨年度は、電子機械科・電気科では、様々な国家試験・国家検定等資格取得に意欲的に挑戦しました。また、ものづくり溶接大会やロボット競技大会へ出場するなど、先生方にも時間外の補習や指導で大変お世話になりました。さらには、小中学校への出前授業や企業とのものづくり連携授業、電気ボランティアでの清掃・電気工事など、地域の方々とコミュニケーションを取りながら学んできたことを役立てる取り組みに力を入れました。生物環境学科・総合学科では、「翔陽祭」だけでなく、「緑の市」「夕方ふれあい市」など生徒自身が生産から販売までの実践的な体験学習に取り組まれました。購入して頂く地域の方々の笑顔に触れ、信頼され愛されていることを実感できる貴重な経験となりました。また、全学科とも二年次九月にはインターンシップで60を超える多くの地元企業にお世話になり、その後の県外研修を含めて早期の進路目標設定に繋がっています。三年次全員が取り組む課題研究も各科とも充実しており、ものづくりの楽しさや有意義を伝える研究、身近な疑問に着目した研究、郷土を愛し発展させるための研究等、各自三年間学んできたことを活かしての立派な発表でした。部活動においては、五月末からの島根県総体では本校からは約170名が参加し、男女総合Bグループ第4位(24校中)と健闘!! テニス男子個人シングルのインターハイ出場を含め、陸上競技、テニス男女、弓道男子、水泳が中国大会へ出場しました。文化部も各部とも活発に取り組んでおり、吹奏楽は夏の大会でもう一步で中国大会でしたが、見事金賞を受賞するなど、どの部活動も立派に文武両道を実践して

くれました。保護者の皆様には数々のPTA活動に大変お世話になりました。特に翔陽祭PTAテント村では、休日早朝から準備して頂き、来場されたお客様の笑顔も印象的でしたが、PTAの皆様の笑顔が大変心に残りました。PTA関係者の皆様の益田翔陽高校に対する想いが、生徒はもとより教職員並びに地域の方々にしっかりと繋がっていると感じることのできる伝統行事でした。今春の卒業生諸君の進路結果については、就職関係が、県内就職24名・県外就職40名・公務員6名とほぼ全員が第一希望で合格しました。いかに売り手市場とはいえ特筆すべき素晴らしい結果でした。また進学については、山口大学教育学部小学校課程、島根県立大学看護栄養学部栄養学科を含め四年制大学9名、短期大学9名、専門学校等37名の合格でした。卒業生本人のこれまでの努力はもちろんのこと、地域の方々と保護者の皆様・多くの先生方に支えられた結果だと思えます。今春の高校入試では、昨年度に続いて総合学科が高倍率となりました。最終的に総合学科と生物環境学科はそれぞれ定員一杯の40名、電子機械科34名、電気科がやや少なく26名の合計140名(昨年度144名)の新入生が入学しました。二年143名、三年125名とあわせて総計408名(昨年度398名)で今年度のスタートとなりました。全体の志願者は増加傾向にありますが、ここ何年かの全県の課題でもある工学への魅力発信を様々な形で地域や小中学校にしている必要があると見えます。各定員40名が充足されるように今後とも努力してまいります。

今年度も「生徒を鍛え地域に開かれた家庭・地域に信頼される学校」「汗と感動と挑戦にあふれる学校」を目指し、総合的な人間力を身につけ自立して社会貢献できる人材育成に教職員一丸となつて取り組んでまいります。常に多くの同窓生の皆様や地域の方々に支えられて本校が成り立っていることを肝に銘じて、日々努力していく所存です。最後になりましたが、同窓生の皆様

one team となって

益田翔陽高等学校
教頭 佐々木 雅典



若葉の緑が
日ごとにすが
すがしく感じ
られるころ、
益田翔陽高
校同窓会員の皆

様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素より本校教育活動に對しまして暖かいご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

本年度は、着任三年目となり、長岡正和校長先生をはじめ教職員のみならずと共に、県唯一の複合型専門高校である本校を、より一層専門力を持つ、そして地域に根ざした高校を目指していきます。

現在、新型コロナウイルス感染症予防への対応として、高校現場としても様々な対応をしながら、教育活動を行っています。生徒たちにとつては、学習や部活動などを思うようにできない状態であり、不安を持ちながら過ごしています。休業期間や部活動禁止体育などの授業や行事での三密対策を考慮しての教育活動を行っています。今こそ、生徒・教職員がone team

amとして益田翔陽高校での学びと教育活動に日々努め、躍動を失わない時間になければならないと思っております。そして、その中で生徒たちが夢と目標をあきらめることなく持ち続け、前進していけるよう、教職員一同出来る限りの教育支援をしていく覚悟です。また、この今までのない事態の克服

方の益々のご健勝とご活躍を心より祈念いたしまして、甚だ簡単でございますが挨拶とさせていただきます。

服のためには地域の方々、そして同窓会の方々のお力も必須と考えます。これからより一層の連携をとらせていただきながら、one teamとなり、この事態を乗り切っていきたいと思っております。

本年度は、六月から十一月にかけて体育館のリフレッシュ工事が行われます。昨年度、屋根・外装・外トイレの工事が行われ、本年度が内装(床・壁・天井・照明など)の工事となります。その間生徒たちには、市民体育館などの施設を利用した体育や部活動をバス移動しながら行うという不便をかけることとなります。しかし十二月にはリフレッシュされた体育館で活動できることを楽しみにしたいと思っております。平成三十年度に教室棟(ホームルーム教室・調理室・被服教室など)がリフレッシュされ、本年度で生徒の学び舎が新しいものになります。より充実した施設での学校生活をプラスにしてより充実した高校生活になればと思っています。同窓会の皆さまも時間がありましたら、新施設を見学に来ていただき、母校の変遷を感じてもらえたらと思います。

益田翔陽高校のさらなる飛躍・発展のためには、同窓会の皆さまのご支援・ご高配は必要不可欠に存じます。重ね重ね重々しくお願いいたします。最後にありますのが、益田翔陽高校同窓会です。皆さまのご発展と、同窓会会員・ご家族の皆様のご健勝をお祈りいたします。

平成31、令和元年度 益田翔陽高校同窓会 事業報告

日 時	業 務 内 容	会 場	日 時	業 務 内 容	会 場
平成31年 4月 9日	9:30～ 平成31年度 益田翔陽高校入学式	翔陽高校体育館	令和元年 10月 3日	9:30～ 益田翔陽高校 体育祭	翔陽高校グラウンド
4月17日	18:00～ 同窓会 会計監査	赤陵会館会議室	令和2年 2月 5日	19:00～ 同窓会 総会担当当番期生との顔合わせ	赤陵会館会議室
	19:00～ 同窓会 役員会（正副会長会）	赤陵会館会議室	2月10日	15:00～ 第60次南極観測隊報告会	翔陽高校体育館
4月22日	19:00～ 同窓会 選考委員会 任期満了に伴う選考委員会	赤陵会館会議室	2月15日	8:40～ 益田翔陽高校 課題研究発表会	グラントワ
令和元年 5月 8日	19:00～ 同窓会 第1回理事会	赤陵会館会議室	2月25日	19:00～ 同窓会 第1回臨時役員会	赤陵会館会議室
6月 8日	8:35～ 同窓会 第6回親睦ゴルフ大会	萩・石見CCC	2月29日	11:00～ 第11回 同窓会入会式（126名 入会）	翔陽高校体育館
6月 9日	10:30～ 令和元年度 第11回同窓会定例総会	サンパレス益田		19:00～ 同窓会 第2回臨時役員会	赤陵会館会議室
7月11日	19:00～ 同窓会 第2回理事会（総会反省会）	赤陵会館会議室	3月 1日	9:30～ 令和元年度 益田翔陽高校卒業式	翔陽高校体育館
9月 1日	11:30～ 同窓会 関西支部定例総会	新阪急ホテル	3月 5日	19:00～ 同窓会 臨時理事会	赤陵会館会議室

平成31、令和元年度 同窓会収支報告書

（平成31年4月1日～令和2年3月31日まで）

〈収入の部〉

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	備 考
1) 会費	1,476,000	1,476,000	0	平成31年度卒業生 @12,000×123人
2) 特定資産取崩収入	0	0	0	
3) 雑収入	15	12	3	利息
4) 寄付金収入	0	0		
5) 繰越金	636,427	636,427	0	
収 入 合 計	2,112,442	2,112,439	3	△収入決算増額を示す

〈支出の部〉

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	備 考
1 事業費	1,355,000	1,197,174	157,826	
1) 組織強化費	550,000	411,100	138,900	支部総会開催支援
2) 総会対策費	0	0	0	
3) 入会記念費	300,000	286,154	13,846	卒業証書ホルダー・同窓会の葉
4) 会報印刷費	55,000	79,920	△ 24,920	会報250部 100増刷
5) 母校助成費	400,000	400,000	0	
6) 慶弔費	50,000	20,000	30,000	祝儀・香典
7) 寄付金	0	0	0	
2 事務（管理）費	515,000	491,884	23,116	
1) 会議費	25,000	8,120	16,880	正副会長・理事会
2) 役務費	370,000	370,000	0	監査・職員手当
3) 需要費	100,000	87,659	12,341	事務用品・HPホスティングサービス他
4) 雑費	20,000	26,105	△ 6,105	南極観測報告会 23,859
〔(1+2)支出計〕	1,870,000	1,689,058	180,942	
『収支差額』	242,442	423,381	△ 180,939	
3 特定資産取得支出	100,000	0	100,000	
1) 周年事業引当支出	0	0	0	
2) 会活動引当支出	100,000	0	100,000	
〔特定資産取得支出計〕	0	0	0	
4 予備費支出	142,442	0	142,442	
1) 予備費支出	142,442	0	142,442	
支 出 合 計	2,112,442	1,689,058	423,384	△支出決算増額を示す

収支差引額 423,381	収入額 2,112,439 － 支出額 1,689,058
---------------	-------------------------------

令和2年度 事業計画（案）

益 田 翔 陽 高 校 同 窓 会	
本 部	○ 総会の開催（毎年6月） ○ 総会開催助成（45才期当番実行委員会へ） ○ 理事会 ○ 役員会（正副会長会） ○ 役員選考委員会 ○ 会報の発行 ○ 入会式 ○ 入会記念品 ○ 同窓会の葉 ○ 支部組織強化対策 ○ 母校助成 ○ その他
支 部	○ その他

令和2年度 同窓会予算書（案）

（令和2年4月1日～令和3年3月31日まで）

〈収入の部〉

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
1) 会費	1,512,000	1,476,000	△ 36,000	平成元年度卒業生 12,000円×126人
2) 特定資産取崩収入	0	0	0	
3) 雑収入	12	15	3	貯金利息等
4) 繰越金	423,381	636,427	213,046	
収 入 合 計	1,935,393	2,112,442	177,049	△は収入予算増額を示す

〈支出の部〉

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
1 事業費	955,000	1,355,000	400,000	
1) 組織強化費	150,000	550,000	400,000	支部会開催支援
2) 入会記念費	300,000	300,000	0	卒業証書ホルダー、同窓会葉
3) 会報印刷費	55,000	55,000	0	会報、資料印刷
4) 母校助成費	400,000	400,000	0	
5) 慶弔費	50,000	50,000	0	慶弔
2 事務（管理）費	515,000	515,000	0	
1) 会議費	25,000	25,000	0	役員会
2) 役務費	370,000	370,000	0	役職員（庶務・監査）手当
3) 需要費	100,000	100,000	0	事務用品他
4) 雑費	20,000	20,000	0	
〔(1+2) 支出計〕	1,470,000	1,870,000	400,000	
「収支差額」	365,393	142,442	△ 222,951	
3 特定資産取得支出	100,000	100,000	0	
1) 周年行事引当支出	0		0	
2) 会活動引当支出	100,000	100,000	0	
〔特定資産取得支出計〕	100,000	100,000	0	
4 予備費	365,393	142,442	△ 222,951	
1) 予備費	365,393	142,442	△ 222,951	
支 出 合 計	1,935,393	2,112,442	177,049	△は支出予算増額を示す

【特別会計】 令和2年度同窓会定例総会对策費予算書（案）

〈収入の部〉

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
総会对策費	350,000	350,000	0	前年度定例総会実行委員会より
収 入 合 計	350,000	350,000	0	△は収入予算増額を示す

〈支出の部〉

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
事業費	350,000	350,000	0	H2年度定例総会実行委員会へ
支 出 合 計	350,000	350,000	0	△は支出予算増額を示す

特定資産	3,512,969 円	島根県農協益田中央支店	定期貯金	No. 063177
	1,501,683 円	島根県農協益田中央支店	定期貯金	No. 020869

令和2年度 益田翔陽高等学校同窓会 定例総会 プログラム

と き：令和2年6月14日
ところ：サンパレス 益田

- ◎ 受 付 10:30 ~ 11:00 1 F ロビー
- ◎ 定例総会 11:00 ~ 11:40 2 F 総会会場
- 開 会 宣 言
 - 総会実行委員長挨拶
 - 同 窓 会 長 挨 拶
 - 学 校 長 挨 拶
 - 来賓紹介、祝電披露
 - 議長選出・議事手続
 - 議 事
 - 第1号議案 令和元年度事業報告・決算報告
 - 第2号議案 令和2年度事業計画・収支予算（案）
 - 第3号議案 役員選任
 - 第4号議案 その他
 - 閉 会 宣 言
- ◎ 引継ぎ式 11:40 ~ 12:00
- 同窓会旗・ハッピー引継ぎ
 - 次期当番期生（平成5年度卒）代表挨拶

令和2年度（第12回） 益田翔陽同窓会定例総会

◆基本構想◆

- 一、本年度の益田翔陽高等学校同窓会定例総会を六月十四日（日）に開催する。
- 二、この定例総会は、平成四年度（平成五年三月卒業）の当番期生を主軸に構成する「令和二年度定例総会実行委員会」が主催する。

- 三、総会は、これまでの同窓会で開催されていた「自主・開放・祭り型」形式を継承する。
- 四、総会開催資金は、総会参加会費収入より調達する。

五、本年度の総会引継式の席上で、次年度総会に關する一切の権限を次期当番期生に引き継ぐ。

◆実行計画大綱◆

一、総会日程及び会場

午後の部	午前の部			日 程	会 場
	二時〇〇分 一四〇〇分	一四〇〇分 一四〇〇分	一四〇〇分 一四〇〇分		
新型コロナウイルス感染予防のため中止	引継ぎ式	定例総会	総会受付		サンパレス 益田

二、総会スローガン
（メイン）『瞬 々とき』
（サブ）『未来への想い、新時代を翔け』

三、定例総会の参加動員計画
今年度は、新型コロナウイルス感染予防のため、例年とは異なり、最少人数で実施

◆令和2年度 益田翔陽高校同窓会◆ 企画調整会議役員名簿

役 職 名	氏 名	卒 業 科
委 員 長	篠 原 大	機 械 科
副 委 員 長	大 畑 雅 之	園 芸 科
	三 宅 靖 志	工 業 化 学 科
部 門 長	波 田 一 美	家 政 科
	大 崎 忍	食 品 化 学 科
	岡 崎 英 治	電 気 科
副 部 門 長	吉 野 富美代	工 業 化 学 科
	大 石 真 紀	園 芸 科
	斎 藤 俊 二	農 業 土 木 科
事 務 局 長	五百蔵 桂 輔	園 芸 科
会 計 長	石 田 亜矢子	工 業 化 学 科

実行委員長

（平成五年機械科卒業）

篠 原 大



本年の実行委員を代表して一言ご挨拶を申し上げます。

今年度益田翔陽高等学

校同窓会定例総会の開催にあたりまして、三輪正樹同窓会長をはじめ本会役員の皆様方、そしてお世話下さった関係者の方々には、御指導・鞭撻賜り厚く御礼申し上げます。

スローガン並びにサブスローガンに『瞬 々とき』『未来への想い、新時代を翔け』を掲げました。昭和から平成、そして令和へ。諸先輩から引き継がれてきた歴史は重く、伝統のあるものです。その時代の一瞬一瞬を懸命に学び、未来への想いが込められた貴重な財産が受け継がれています。希望に満ち溢れた新しい時代、令和の「瞬とき」を共に切り拓き、そして未来へ翔き、後世に誇れる財産が伝承できるよう願いを込めました。

また、同じ年に卒業し、それぞれの人生を歩み様々な経験を積んだ者同士が当番期生として定例総会の成功という同じ目的に向かい、活動していくことの清々しさも多くの先輩方が紡いでこられた翔陽高校同窓会ならではの掛けがえない経験であると思います。この度実行委員長を仰せつかり、貴重な経験や気持ちの機会を与えて頂いた事に心より感謝しております。

さて、今年に入り新型コロナウイルスが猛威を振るい、人々の生活を脅かしております。そうした中、翔陽高校同窓会も影響を拭えず、大幅な規模縮小を余儀なくされ、皆様方が心待ちにされている祝賀懇親会も中止せざるを得ない状況になってしまいました。苦渋の決断ではございましたが、同窓生の皆様方がコロナウイルスに感染されない為の判断でありましたが、結果として開催に導くことができませんでした。心よりお詫言申し上げます。

結びに、益田翔陽高等学校同窓会の益々のご繁栄と、会員の皆様方、同窓会を通じてお世話になった方々のご健勝とご多幸を祈念いたします。ご挨拶とさせていただきます。

母校は今・・・

翔陽高校近況報告

生物環境工学科 田 原 伸 治
(昭和59年3月 益農園芸科卒)

令和元年4月9日、電子機械科32名、電気科32名、生物環境工学科40名、総合学科40名の新生計144名を迎え、新年度がスタートしました。

学校行事・部活動・資格試験・課外活動などに積極的に取り組み、個人の成長や、学校のPRに努めた1年となりました。

そして、令和2年3月1日、126名の卒業生が進学・就職とそれぞれの新たな進路へと巣立っていきました。

■本年度の歩み■

【四月】
8日(火) 1学期始業式
9日(火) 入学式・対面式・入寮式
25日(木) 遠足(1年生)
27日(土) 緑の市
【五月】
7日(火) 生徒会・自農ク・家ク合同総会
12日(日) 中間試験(～14日)
12日(日) PTA総会・授業参観
14日(火) 県総体壮行式
16日(木) 農ク地域とのふれあい事業
(サツマイモ植え付け)
24日(金) 県総体(前期)(～26日)
30日(木) 県総体(後期)(～6月1日)
【六月】
5日(月) 総体報告会
10日(月) あいさつ運動(14日まで)
14日(金) 農ク校内意見発表会
15日(土) 一日体験入学(1回目)

24日(月) 救命救急法講習会
24日(金) 期末試験(～28日)
28日(月) 夕方ふれあい市
28日(月) 野球部・吹奏楽部壮行式
【七月】
4日(木) 校内球技大会
9日(火) 第1回避難訓練
16日(火) 夕方ふれあい市
23日(火) 保護者と生徒との懇談会
24日(水) 1学期終業式
26日(金) 県農ク鑑定競技会
【八月】
5日(月) 夕方ふれあい市
6日(火) 体育祭準備開始(3年生)
25日(日) PTA美化活動・寮PTA清掃
29日(火) 2学期始業式
【九月】
3日(火) 2年生インターンシップ(～5日)
24日(火) 中間試験(～26日)
28日(土) 一日体験入学(2回目)
【十月】
3日(日) 体育祭
9日(水) PTA体験講話(1年生)
10日(木) 農ク地域とのふれあい事業
(サツマイモ収穫)
16日(火) 県外研修(2年生)
23日(水) 農業クラブ全国大会(～24日)
P T A 体験講話(2年生)
進路ガイダンス(1年生)
28日(月) あいさつ運動(～11月1日)
【十一月】
6日(水) 校内ロードレース大会
17日(日) 翔陽祭(～18日)
28日(木) 期末試験(～12月5日)
【十二月】
4日(水) 立会演説会・生徒会
農業クラブ家庭クラブ合同選挙
5日(木) 夕方ふれあい市
9日(火) 第2回避難訓練
12日(木) A科課題研究発表会
13日(金) 生物環境工学科課題研究発表会
18日(水) 総合学科課題研究発表会(～19日)
25日(月) 2学期終業式

【一月】
8日(水) 3学期始業式・生徒会
農業クラブ・家庭クラブ合同総会
推薦入試
21日(火) 1・2年中間試験(～28日)
24日(金) 3年期末試験(～31日)
27日(月) 【二月】
3日(月) 電子機械課題研究発表会
4日(火) 電気科課題研究発表会
7日(水) 地元企業見学(1年生)
進路ガイダンス(2年生)
15日(土) 課題研究発表会(グラントワ)
3年生を送る会(グラントワ)
25日(火) 学年末試験(～29日)
28日(水) 同窓会入会式・各種表彰式
【三月】
1日(木) 卒業証書授与式
6日(火) 入学者選抜試験(学科)(面接)
7日(水) 入学者選抜試験(面接)
9日(金) 第3回避難訓練
13日(金) 校内球技大会(中止)
24日(金) 3学期終業式・離任式
26日(木) 入学予定者登校日
体育祭
10月3日(木) 「平成から令和へ」
新たな時代も頑張っていきたい翔陽！
～というスローガンをもとに令和最初の体育祭が行われました。
3年生は就職試験、中間試験後の忙しい中、短い期間でしたが、当日のために準備に頑張ってくれました。例年天候に悩まされる体育祭ですが、今年度も当初は台風が直撃という予報がありました。当日は強風や砂嵐がおり、途中テントの幌を取り外すなどの事態もありました。そのような中でしたが、生徒達は、学科・学年の垣根を越えて一致団結をし、分団カラーを見事に表してくれました。誰もが一生懸命に取り組む姿勢がみられ、盛り上がった体育祭になりました。

翔陽祭

11月17日(日)、18日(月)の2日間に渡り、本校の学園祭である「翔陽祭」が開催されました。今年度は、両日ともに天候に恵まれ昨年以上の多くのお客様に足を運んでいただきました。

準備が整った前日16日(土) 午後の開会式では、弦楽部の演奏で幕を開け、文化委員長の開会宣言により翔陽祭が開幕し生徒全員の心が一気に翔陽祭ムードに変わっていききました。

初日の17日(日) は肌寒い曇り空の中、早朝6時頃から翔陽高校伝統のPTAテント村の準備のため、多くの保護者が集まり、農場では朝から熱気にあふれていました。農場の各販売所には、午前9時の販売開始から長蛇の列ができ、販売終了時まで多くの人に来ていただきました。教室棟内では文化系の部活・同好会・保健委員会の各種展示、弦楽部と英語科によるミュージックカフェ、総合学科の食堂等、様々な催し物が開催されました、また、工業棟では、S科、E科の各クラス

の生徒による屋台が並び、課題研究作品、面白マシンの体験会場では、来場された方々に学科のことを知ってもらい、楽しんでいただけたようでした。

午後からは、体育館で元サツカー日本代表の名波浩さんによる講演会が開催され「夢・目標」というテーマで講演をいただきました。夢や目標に向かっでどれだけ本気で向き合っているのか、1つのことをとことん極めることの大切さを改めて考えさせられました。

2日目には、図書委員会・吹奏楽部の演奏・生徒有志の石見神楽・生徒会企画と盛りだくさんの内容が体育館ステージで開催されました。中でも、夏の吹奏楽コンクール島根県大会で金賞を受賞した吹奏楽部の演奏は迫力があ

り美しいハーモニーを奏でるものでした。毎年恒例の生徒有志による石見神楽の上演では、学科や学年の枠を越え、神楽を愛する生徒有志が自分の地域の伝統的な舞い方や囃子を融合させた迫力あふれる舞を披露しました。

課題研究発表会

3年生全学科から、それぞれに選抜された2～3題の研究テーマ発表を、グラントワ大ホールを会場に毎年2月に開催しています。

今年度も各学科の特色をいかした3年間のまとめに相応しい活動内容の発表を行いました。今年度は、実物展示や演示の内容が多く、より分かりやすい工夫が施されていました。会場には地元企業・保護者・一般の方々、来年度以降に本校に入学希望の中学生などが多く来場されました。

生徒にとつては、高校生活最後の発表会となり、今後につながる良い経験となりました。

後記

令和2年度40名の生徒が益田翔陽高校15期生として入学してきました。近年、生徒数は減少傾向にありますが、学校の歴史は毎年積み重ねられてきています。令和初となる入学生生の活躍を期待するところです。

同窓生の皆様には、翔陽祭や夕方ふれあい市、みどりの市などが一般公開されていますのでぜひ学校の方も越えただければと思います。お待ちしております。

今後も様々な方面でのご協力をお願いすることになると思いますが、どうぞよろしく願っています。

以上、簡単ではありますが、母校、益田翔陽高校の近況報告とさせていただきます。